

リーン・ライブラリアン

司書は病院経営にどう寄与できるか

佐藤 正恵

千葉県済生会習志野病院図書室

1. 背景と問題意識

医療法第 22 条で地域医療支援病院には医療従事者の共同施設として図書室設置が義務付けられている。病院内の図書室司書（以下、病院司書）の配置は義務ではなく、一人部署や他部署の兼務が多い¹⁾。一方、日本の医療機関全体の経営状況は悪化しており、一般病院（国公立・民間含む）全体の約 7 割の病院が赤字経営となっている²⁾。主な理由として諸経費や人件費の高騰に対して診療報酬による収入の制限等が挙げられる。このような状況下で、病院司書は利益を消費するだけのコストセンターでなく、利益を生み出すプロフィットセンターの役割をどのように果たせるだろうか。

2. リーン・ライブラリアンとは

Huber は北米の図書館における経営コンサルタントとして「リーン・ライブラリー(Lean Library)」を提唱した³⁾。その著作はリーン型経営に基づきコストを削減しつつ利用者サービスを向上させるための 11 の戦略をまとめたものである。書評でも「図書館員にとって夢であり非常に先進的な一冊」と評価されている⁴⁾。Thomas (2015) と Chu (2018) は、米国でリーン訓練を受けた司書が経営・管理チームの一員となった事例を「リーン・ライブラリアン」として紹介している⁵⁾⁶⁾。

3. 日本におけるリーン・ライブラリアン

学術支援を行う病院司書の活動モデルとして、利用者に溶け込むエンベディッド・ライブラリアンや組織や人をつなぐリエゾン・ライブラリアン等が挙げられる⁷⁾。本発表では経営に寄与するリーン・ライブラリアンの具体的な活動として、医師の働き方改革、人材確保・育成、地域包括ケア・診療報酬の加点等について具体的な方策を検討する。

参考文献

1)日本病院ライブラリー協会. 現況調査報告. 2024

2)厚生労働省. 第 25 回 中医協医療経済実態調査（医療機関等調査）結果報告に対する見解 <https://www.mhlw.go.jp/content/10808000/001603459.pdf>

3)Huber, John J. Lean Library Management: Eleven Strategies for Reducing Costs and Improving Customer Services. Neal Schuman Pub; 2010.

4)Thomas, Susan E. Reviews. Journal of Hospital Librarianship. 12(2):185-186, 2012.

5)Deborah A. Thomas. The Lean Librarian. Journal of Hospital Librarianship.15(1):23-30, 2015. DOI: 10.1080/15323269.2015.982021

6)Alexander S. Chu, Alice Ball. Using Quality Improvement Tools to Redefine a Clinical Librarian Service. Journal of Hospital Librarianship. 18(2):133-144, 2018.

7)佐藤正恵. 図書館員の活動モデルを考える. 薬学図書館.62(3):144-146, 2017.